

感染状況・医療提供体制の分析(8月17日時点)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (8月10日時点)	現在の数値 (8月17日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	20129人 (1072.4人)	20994人 (1118.5人)	↗	感染状況コメント レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要 新規陽性者は人口10万人当たり1119人と高止まり。60歳以上が占める割合も更に増加。陽性者の急増から遅れて、重症者・死亡者も増加している。 これまでで最も高い感染レベル。夏休みやお盆で検査・診断や報告の遅れなどもあり、感染状況の過小評価が生じている可能性がある。個人で行える感染対策を再強化し、高齢者等重症化リスクの高い方を守る行動を。動画をご覧ください。 「岡山県の医療を守るために、県民のみなさんをお願いしたいこと」 https://bit.ly/3zH60EA
		60歳以上 (総数に占める割合)	3294人 (16%)	3529人 (17%)	↗	
	②圏域別新規陽性者数	県南東部	10480人	10533人	↗	
		県南西部	6823人	7738人	↗	
		高梁・新見	294人	310人	↗	
		真庭	446人	439人	↔	
津山・英田	2055人	1959人	↔			
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	350人 (60%)	366人 (63%)	↗	医療提供体制コメント レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる 高齢者の感染者増加により、確保病床における入院割合は60%を超えた。発熱外来や救急医療は逼迫。医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、医療機関のキャパは大きく低下。結果的に、救急搬送困難、手術制限など通常医療提供が困難になっている。また、施設内療養者も多く存在している。	
	④宿泊療養者数	167人	129人	↘		
	⑤自宅療養者数	20352人	21859人	↗		
	⑥重症者数	11人	15人	↗		

